

学校関係者評価結果報告

学校関係者評価

—学校関係者評価委員会—

さいたま市立高等看護学院、学校関係者評価委員会は「令和 6 年度学校運営評価」の評価結果に基づいて学校関係者評価を令和 7 年 2 月 12 日に実施いたしました。

1 学校関係者評価委員

	氏名	所属
1	油井 房子	保護者
2	川上 千津子	卒業生
3	岡 嶋 浩志（欠席）	外部講師
4	小山内 富士子	実習先：大宮共立病院 看護部長
5	落合 葉子	実習先：保健衛生局市立病院 看護部 副看護部長
6	坂口 達彦	実習先：保健衛生局市立病院 病院経営部 病院総務課長

2 学校関係者評価

カテゴリー	評価結果	学校関係者評価委員の意見
I 教育理念・目標	3.6	評価点は昨年度と同じであり、委員より意見なく点数は 3.6 で妥当である。
II 学校運営	3.4	昨年度 3.5 に対し 3.4 と下がっているのは、将来構想について会議で示していないことが原因であり、点数は 3.4 で妥当である。
III 教育課程・教育活動	3.4	昨年度より 0.2 ポイント下がっているが、項目ひとつずつを見ていくと、内容ひとつひとつは評価できているようだ。学習内容は教育理念・教育目標と一貫性があり、時代の要請に応える内容とし、時間割も調整している。成績低迷者には個別に対応するなど学生のレベルに合うように工夫改善している。 各看護学で情報が共有されていないことが点数の下がった原因であると思われるので、今後は情報共有をしっかりと行い、授業の改善に努めてほしい。 再試験者や再履修者が出ないように今後も取り組みを続けてほしい。 点数は 3.4 で妥当である。
IV 学生募集と受け入れ	3.5	成績のことなど学院の事情がよくわかる。昨年と変わらず、点数は 3.5 のままで妥当である。
V 卒業・就職	3.6	国家試験の合格率が 100%ではない年が続いているが、プロジェクトを開催し、毎年対策を工夫している様子がわかる。学生のレディネスに合わせながら学校側が苦勞されていることが伝わってくるため、点数は 3.6 で妥当である。
VI 学生生活への支援	3.6	退学者の人数的には昨年度より減っているが、休学者が多いことがわかった。アドバイザーや担任が面談をして、進路についてじっくり検討しているため、昨年度より低い点数は 3.6 で妥当である。

VII 管理運営・財政	3.4	ユニフォームを検討し変更するなどしており、点数は3.4で妥当である。
VIII 法令等の遵守	3.6	昨年度より点数は下がっているが、委員より意見なく点数は3.6で妥当である。
IX 施設設備	3.6	パソコンを新たに購入し、昨年度指摘のあった学生のパソコン離れについて、講義内容の変更など、改善を試みた。点数は3.6で妥当である。
X 教職員の育成	3.0	他の教員の授業参観や授業参加について、実習や講義があるなかでも、実現可能な目標、計画を立て取り組んでほしい。 業務調整や工夫次第で、授業参観や授業参加ができた可能性もあり、次年度以降の課題として実施していく。点数は3.0で妥当である。
XI 広報・地域活動	3.3	学生が情報を収集しやすいSNSなどを活用し、学院の存在をアピールしてほしい。 今後も学生が、ボランティアに積極的に参加できるよう支援してほしい。 点数は3.3で妥当である。

<総評>

昨年度より全体的に学校評運営評価の自己評価点は下がっているが、それぞれの評価項目に対し新たな試みや課題をもって取り組んでいる。自己評価点が下がっている理由として教職員への周知や、取り組みに対して理解が得られていないところもあるため、教職員に協力が得られるよう、情報共有を図っていく。